

8・9月号

令和2年8月25日発行



たかさんだより

杉並区立高井戸第三小学校 TEL 03(3302)0181 FAX 03(3302)6213 <http://www.suginami-school.ed.jp/takaido3shou/>

教育目標「すすんで考えやりぬく子 心ゆたかでたくましい子 なかよく助け合う子」

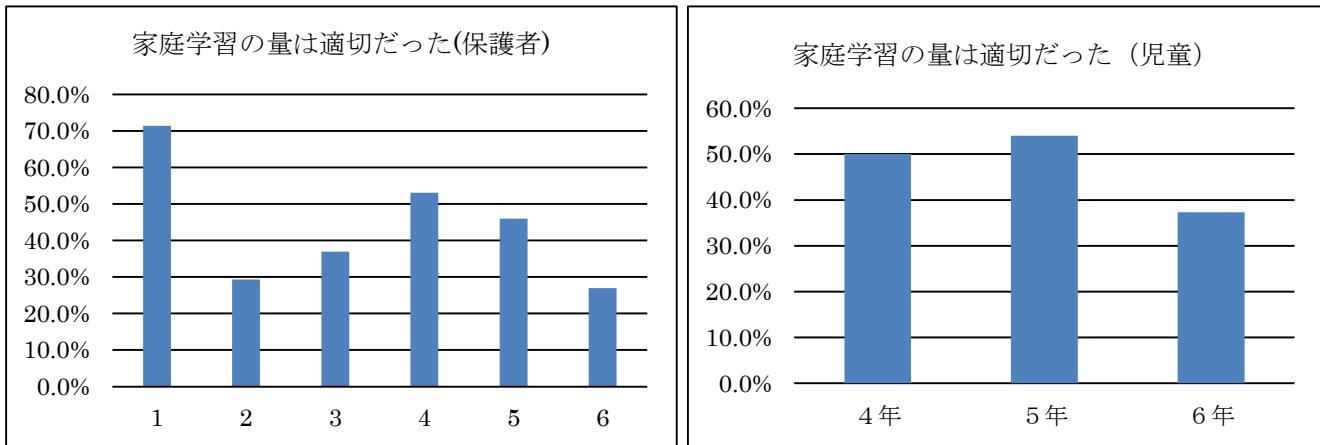
学校再開アンケートありがとうございました

校長 馬場 章弘

例年になく長い梅雨が明けたと思ったら、熱中症が心配されるほどの猛暑の日々が続きました。皆様いかがお過ごしだったでしょうか。

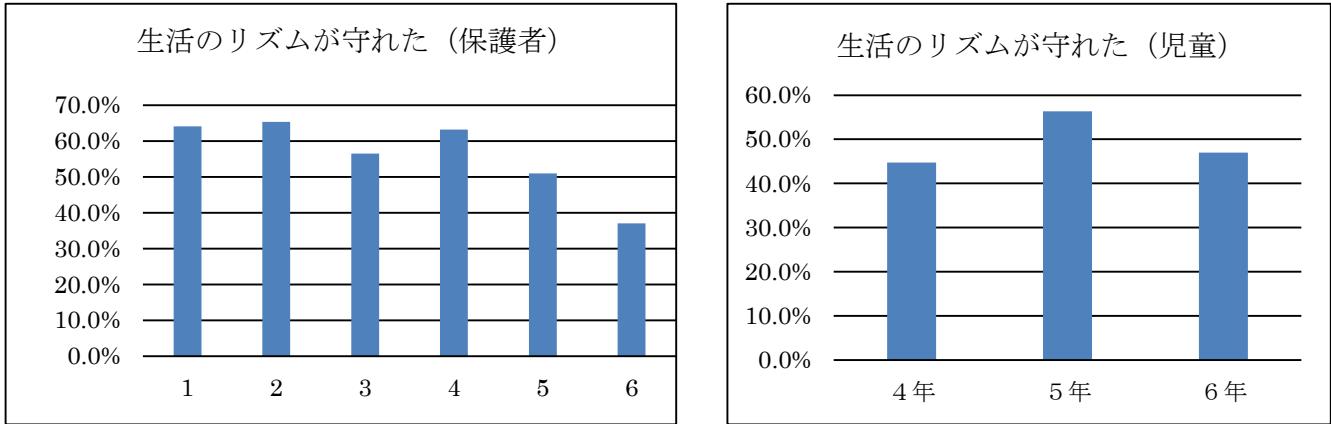
7月末に行った、「学校再開アンケート」のご協力、ありがとうございました。児童は4年生以上、保護者は63%の回収率でした。今回の新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言と臨時休校は、前日に総理大臣からマスク発表され、正式な通達もないままそれに学校が対応するというものでした。誰もが経験したことのないこの非常事態の対応で、最善を尽くそうとしたことはもちろんでしたが、保護者や子供たち、そして学校がどう動き、どのように感じたかを振り返っておくことは、次への備えとして重要と考えます。以下、回答いただいた集計結果概略をお知らせします。今後に生かせるよう努力してまいります。

1、休校期間中について



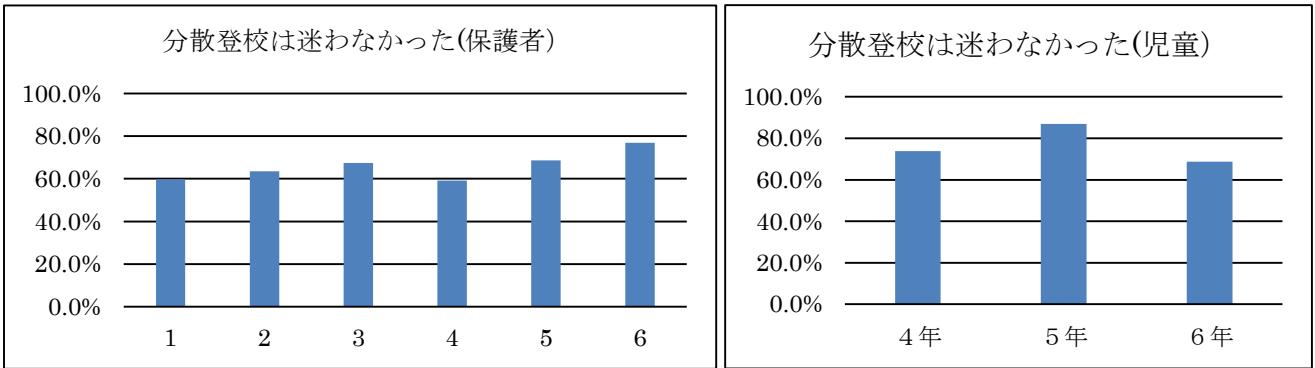
3月の突然の休校、そして4月の再休校とその延長と目まぐるしく状況が変わりました。連絡方法や課題の出し方、量などについて適切だったか、そして混乱がなかったか伺いました。結果は学年、それぞれの家庭の事情により量についてはだいぶ意見が分かれています。また、時間割についても賛否が分かれました。時間割があることによって生活のリズムが整ったという感じ方もあるれば、逆に、時間割に合わせようとすること自体が苦しかったという回答もありました。年齢が低い兄弟がいたりテレワークをフルタイムでなさっていたりするご家庭では、家庭学習にどこまで保護者がかかるべきなのか悩み、だいぶご苦労されたことがわかりました。また、連絡方法として、プリント、一斉メール、ホームページと3種類あり、どれでも伝えられるようにと考えましたが、かえって混乱してしまった部分もありました。基本的には、一斉メールが一番に優先され、それ以外のものは、できるだけ紙媒体でお渡しできるようにしたいと考えています。メールやホームページでの矛盾が起こらないよう、気を付けます。また、家庭学習を回収するタイミングについても、いろいろとご意見をいただきました。「感染を防ぐために回数が少なくてよかったです」というご意見と、「もっとこまめに回収してほしかった」というご意見と両方ありました。

2、家庭での生活について



「生活リズム」については、上の学年ほど崩れてしまうことが多かったようです。また、家庭生活で一番懸念されたことは、外出自粛の中で子供たちの生活リズムが乱れるだけでなく運動不足になったということです。「休校期間中の課題に運動を入れてほしかった」という意見が多くありました。

3、分散登校について



6年生を優先に、なるべく公平になるようにとローテーションを組みましたが、低学年ほど「迷うことが多かった」という回答がありました。また、低学年の送り迎えも、「大変だったけど必要だった」という回答が学年が低いほど多くありました。

4、学校が再開して

休校期間中の学習の遅れを取り戻すためもあり、すぐに5時間授業や6時間授業が始まりました。また、土曜授業も月に2回になりました。生活のリズムが乱れて体力も落ちてしまった子供たちにとっては、つらいスタートとなりました。夏休み明けの生活や学習についても、細かく見ていく必要があると考えています。特に、休校明けに体調を崩していたり集団生活に困難さがあったりした子については、教職員をはじめスクールカウンセラーなどとも力を合わせて、サポートしていきます。またご家庭でも心配なことはとどめておかず、カウンセラーにお気軽にご相談ください。相談室の留守番電話に入れておいていただければ、カウンセラーより改めてお電話を差し上げます。（相談室 Tel:03-3302-0265）

2学期以降の高三小の教育について

新型コロナウイルス感染症の感染者数は、まだまだ厳しい状況にあります。しかし、感染リスクに配慮しながらも、8月6日付「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」(文部科学省)に沿いながら、2学期以降できるだけ教育内容を通常のものに近づけていきたいと考えています。子供たちのこの時期、この年齢で身に付けたり学んだりしなければならないものはたくさんあります。それらをできるだけ行えるようにするためです。ご心配なこともあるかと思います。お気軽にご相談ください。

■ 体育の授業

熱中症に十分注意しながら、できるだけ通常の内容に近づけて指導をしていきます。内容は、今まで行わなかつた跳び箱等の指導も行っています。マスクは暑ければ外しますが、十分間隔は空けさせます。また、マスクを外すことは強制は致しません。

■ クラブ活動

1学期は行いませんでしたが、2学期からはどのクラブも対面や接触を避け、感染リスクに配慮しながら実施していくこうと考えています。マスクについては、体育と同様の扱いとします。

■ 清掃活動

まだまだ感染者数が多いので、当面の間児童による清掃活動は行いません。児童が下校した後教員が清掃します。

■ 校外学習

各学年の生活科見学や社会科見学、移動教室の代替行事については、現在見学先も含めて検討・交渉中です。決定したらまた改めて学年よりお知らせいたします。

■ 朝会・集会

少し気温が下がる10月より、短時間校庭で行います。

■ 体育参観

10月3日(土) 4~6年 雨天延期 10月5日(月) 10月24日(土) 1~3年 雨天 10月26日(月)

各ご家庭2人まで見学できます。詳しくは別紙お知らせを配布いたします。校舎への立ち入りはご遠慮ください。

■ 道徳授業地区公開講座

例年ですと土曜公開のうちの1日に道徳の授業を見ていただいております。しかし今年度は保護者の密集を避けるため、9月19日(土)11月14日(土)11月28日(土)の3日間に分けて実施いたします。詳しくは学年だより等をご覧ください。

■ 学校公開

学校公開も道徳授業地区公開講座と同じ日程で3日間に分けて実施します。参観できるのは3日間のうち1日だけといたします。密集を避けるため割り当てられた1日に各ご家庭1人ご参観ください。



よろしくお願ひします



本年度、新しく着任した小山先生からの一言です。

小山 朝子 (こやま ともこ)

高井戸第三小学校のみなさん、保護者・地域の皆様、はじめまして。
講師の小山朝子と申します。一学期の6月より、1年生、4年生、6年生の一部クラスのみなさんと国語などの学習をしています。二学期も、高三の元気な子どもたちと楽しく学習していきたいと思います。
どうぞよろしくお願ひいたします。

9月の生活目標

「気持ちのよいあいさつをしよう」

生活指導部

9月の生活目標は「気持ちのよいあいさつをしよう」です。「おはよう！」は、気持ちよく一日をスタートさせる魔法の言葉。たくさんの友達や先生、地域の方々とあいさつをしてすてきな一日を過ごしましょう。

安心で安全な環境をつくることは、すべての児童が学校生活を送る上で欠かすことのできない、大事なことです。友達も自分も大切にする意識付けを行うと同時に、問題を未然に防ぐため情報交換の機会を設けています。何か問題が起きた場合にも、担任が一人で問題を抱え込まず情報の共有を図り、組織的な対応をしています。また、いじめはどのクラスでも起きる可能性があるものとして考え、常に子供たちの様子を見守っています。不登校については、スクールカウンセラー・済美教育センターや外部団体との連携を図り、解決を目指しています。お子さんに変わった様子が見られた場合には、些細なことでもすぐに教員にお知らせください。

ICT ニュース

ICT 担当

オンラインホームルームの実施に向けて、ご協力いただきありがとうございました。今後、新型コロナウイルス感染拡大に備え、校内でも研修を行ったり、タブレットやルーターの用意をしたりなど準備を整えているところです。ご家庭でも、システムをスムーズに利用できるように7月にお配りしたマニュアルを確認していただければと思います。ご不明な点があれば、学校までご連絡ください。

道徳授業地区公開講座について

道徳担当

「2学期以降の高三小の教育について」に記載の通り、参観される保護者の方の密集を避けるために、9月19日(土)、11月14日(土)、11月28日(土)の3日間に分けて道徳授業地区公開講座を行うことになりました。各日共に、1～3校時まで公開し、その中で道徳の授業を1時間行います。3日間の中をご参観いただける日が児童ごとに決まっておりますので、詳しくは9月号の学年だよりでご確認ください。道徳の授業のテーマは、「集団や社会との関わりに関すること」です。また、例年講師の方をお招きして講演会を行っていましたが、感染症予防のため今年は中止となりました。また、保護者の方には学校公開後に、道徳についての簡単なアンケートにお答えいただきたいと思います。ご協力よろしくお願いします。

学力テストのお知らせ

教務部

今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策のための臨時休校のため、国、都の学力調査、区の特定課題調査が中止となりました。そこで、9月中に関係各学年で「どれか1教科、どれか1種類」という条件で校内実施をすることにしました。理由は、子供たちの読解力、特に「問題で問われている内容を読み取る力」が低下していると言われる昨今、このようなものに取り組むことで、問題文を読むトレーニングも必要と考えるからです。問題を実施したのち、答え合わせや解説をしたうえで、返却いたします。また、実施しなかった他の問題も併せてご家庭に持ち帰ります。時間があればご活用ください。